

心臓血管外科 副部長  
しらとり かず あき  
白鳥 一 明



## か し じょうみゃくりゅう 下肢静脈瘤のレーザー治療

身近に足の血管がふくらみ、ポコポコと浮き出ている方はいませんか？それが下肢静脈瘤です。ちゃんとした統計はありませんが、程度の差はあれ1割ぐらいの方にあるのではないかとされています。

### 下肢静脈瘤とは？

足(下肢)の静脈は、筋肉内の深いところにある「深部静脈」、皮膚のすぐ下を走っている「表在静脈」、それらをつなぐ「交通枝」からなります。静脈の内側には血が逆流しないように「弁」がいくつも付いていますが、表在静脈の弁が何らかの原因で壊れて、深部静脈から逆流し表在静脈内に血がたまってふくらんだものが、「静脈瘤」です。↓左の写真のようになります。



手術前



手術後

### 静脈瘤の症状は？

瘤のある足が疲れやすい・むくむ・かゆい・こむら返りがよく起こる・痛い、などです。足に瘤があるだけで症状をまったく訴えない方もいます。

### どんな人が静脈瘤になりやすい？

女性に多いと言われています。また立ち仕事をする方(理美容師・調理師・デパート店員など)も、足の静脈に圧が長時間かかるので静脈瘤になりやすいと言えます。親族に静脈瘤の方がいる場合、静脈瘤になりやすいとも言われています。

### 静脈瘤の治療法は？

- (1)弾性ストッキング：普通のストッキングより弾力性の強いもので、表在静脈を圧迫し血液が逆流しないようにして悪化を防ぎます。
- (2)硬化療法：静脈瘤の中に硬化剤という薬を注入し炎症を起こさせ、血液が流れなくしてしまいます。
- (3)手術治療：皮膚を切開し静脈を糸でしばってしまう

方法(高位結紮術)や、静脈を引き抜いてしまう方法(静脈抜去術)、レーザー治療などがあります。

### 静脈瘤があれば手術しなければいけないの？

静脈瘤があれば必ず手術しなければいけないということはありません。しかし症状が強く、皮膚の変化を生じている場合は手術した方がよいでしょう。症状がなくても、静脈瘤があることをとても気に病んでいる方には、手術を行なっています。

### 静脈瘤のレーザー治療とは？

瘤を作っている静脈内に細い光ファイバーを入れ、レーザー光を当てて焼くことで静脈を縮めたり閉じたりする治療法です。皮膚を切る手術と違い、レーザー治療では膝の辺りにファイバーを入れる小さな穴(2.4mm)があきますが、**皮膚を切らずに**治療できます。

光ファイバーが入りにくい曲がりくねった静脈などこの治療に向かない場合もあります。表在静脈が割とまっすぐになっている太ももの内側やふくらはぎの裏側でレーザー治療を行なうことになります。

それら以外のくねくねと曲がった目立つ瘤は、その上の皮膚を小さく(2.3mm)切開し、カギ状の特殊な細い器具(バラディ・フック)を用いて引き抜く方法で手術します(スタブ・アバルジョン法)。この治療は、1泊2日の入院で行なっています。

下肢静脈瘤があり悩んでおられる方は、静脈瘤外来を受診してみてください。

